# デジタル技術超入門（クラウド／アジャイル編）

［概要］　IT に関する主要な最新技術・キーワードをコンパクトに理解するためのコースです。システム環境面・開発面での最新技術・キーワードであるクラウド・コンピューティング・パッケージ・RPA、アジャイル・超高速開発ツールの定義・必要性・分類・活用のメリット・デメリットを理解することができます。

［学習目標］　・IT のシステム環境面・開発面での最新技術・キーワードであるクラウド・コンピューティング・パッケージ・アジャイル・超高速開発ツールを理解する

［受講対象者］・IT に関する最新技術・キーワードに興味がありコンパクトに理解したい方

［前提条件］　特になし

［日数］　半日間（3 時間）

［形式］　講義＋演習（講義中心、90：10）

［研修に必要なもの］

講師用　：（オンラインの場合）オンライン研修環境
（オフラインの場合）プロジェクター、ホワイトボード

受講者用：（オンラインの場合）オンライン研修環境、Word の使える PC

［タイムスケジュール］

| 日程 | 内容 |
| --- | --- |
| | １．IT 最新技術・キーワードを３つの側面でとらえる<br>・３つの側面<br>・システム環境面<br>・システム開発面<br>・データ活用面<br>２．システム環境に関する最新技術・キーワード<br>・クラウドコンピューティングの定義<br>・クラウドコンピューティングの必要性<br>・クラウドコンピューティングの分類<br>コンピュータ環境の専有状態による分類<br>利用階層による分類<br>・クラウドコンピューティングを支える技術<br>仮想化技術、SDx<br>・クラウドコンピューティング利用階層の細分化<br>コンテナ技術：Docker on Iaas、サーバレス：FaaS<br>・クラウド・インフラ構築のポイント<br>・クラウドコンピューティングのメリット・デメリット<br>（確認クイズ）<br>３．システム開発に関する最新技術・キーワード<br>・スクラッチ開発の問題点<br>・スクラッチ開発の問題点を解消する開発方法<br>パッケージ、RPA、アジャイル、超高速開発ツール<br>・パッケージ<br>定義、必要性<br>日本におけるパッケージの変遷<br>分類<br>業務パッケージの活用方法<br>メリット・デメリット<br>・RPA<br>定義、必要性、活用例、メリット・デメリット<br>・アジャイル<br>定義、必要性<br>活用例　スクラム<br>メリット・デメリット<br>・超高速開発ツール<br>定義、必要性、分類<br>メリット・デメリット<br>（確認クイズ） |